

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子育て支援				
担当者氏名	昇 慶一				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

保育士による子育て支援の意義や基本的態度を理解した上で、ソーシャルワークの方法や技術を用いて、保護者及び子育て家庭の問題を見極め、問題解決に向けた支援を展開していく子育て支援の過程を学習する。
 具体的な事例分析や課題解決に向けたワークなどの演習に対して、主体的な参加が求められる。

《テキスト》

西村重稀・青井夕貴編『子育て支援 新・基本保育シリーズ ⑱』中央法規

《参考図書》

必要に応じて資料を配布する。

《授業の到達目標》

1. 保育士が行う保育の専門性を背景とした、保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。
2. 保育士が行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。

《授業時間外学習》

児童福祉に関する代表的な社会資源としてどのようなものがあるかについて、他科目の復習等により自主的に学習しておくこと。
 中間レポートは住んでいる自治体の子育て支援の取組みをテーマにする予定である。

《成績評価の方法》

平常点（提出物及び受講態度）10%、中間レポート 20%、期末試験 70%

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	子育て支援とは	オリエンテーション、子育て支援・ソーシャルワークの基本的理解
2	支援ニーズへの気づきと多面的理解	子育て支援の必要性、保護者や家庭のかかえるニーズへの気づきと多面的な理解
3	保護者との相互理解と信頼形成	保護者との相互理解と信頼形成の意義、バイステックの7原則
4	子ども及び保護者の状況・状態の把握	子育て支援・ソーシャルワークのプロセス、アセスメントの意義とジェノグラム
5	アセスメントと支援計画	アセスメントの設例演習
6	社会資源（1）	社会資源の理解と活用の意義
7	社会資源（2）	児童相談所・要保護児童対策地域協議会の理解、職員・関係機関の連携と協働
8	支援の実際（1）	保育所を利用している保護者に対する支援
9	支援の実際（2）	地域の子育て家庭に対する支援
10	支援の実際（3）	障害のある子どもおよびその家庭に対する支援
11	支援の実際（4）	特別な配慮を要する家庭に対する支援
12	支援の実際（5）	要保護児童等の家庭に対する支援
13	自治体による子育て支援の取組み	自分が住んでいる自治体の子育て支援の取組みをレポートにまとめて発表し、グループワークを行う
14	子育て支援の現代的課題	待機児童問題と保活
15	まとめ	振り返りとまとめ